

座談会

知財立国の課題と展望

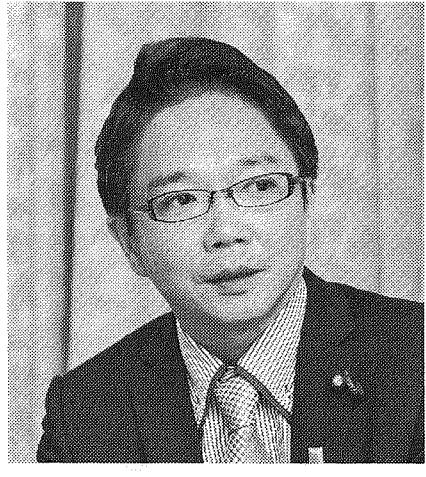
「自由民主」では、本年3月から、「危機に立つ日本の科学技術」と題した連載記事を掲載し、諸外国が国を挙げて科学技術振興に力を入れる中で、わが国の科学技術が置かれている危機的な状況と、その解決策を提案している。

今回の座談会は、わが国が知財立国となる上での課題と展望について議論を行い、知財立国への取り組みの今後の方向性について、それぞれの立場から話し合った。



参加者

大野敬太郎 自由民主党衆院議員
濱口道成 国立研究開発法人科学技術振興機構理事長
荒井寿光 公益財団法人世界平和研究所副理事長
馬場鍊成 特定非営利活動法人21世紀構想研究会理事長



大野敬太郎衆院議員

馬場鍊成氏 今回の座談会のテーマは「知財立国への取り組みがなぜ低調なのか、それらの立場から課題を出し、後半はその課題の解決策を提言していくことで、前半は知財立国への取り組みがなぜ低調なのか、それらの立場から課題を出し、後半はその課題の解決策を提言していくことで、前半は

荒井寿光氏 産業構造と技術構造が変化し

最初のきっかけはGAFA(Google, Apple, Facebook, Amazon)に

大野敬太郎衆院議員

最も危機感を覚える

最初のきっかけはGAFA(Google, Apple, Facebook, Amazon)に

大野敬太郎衆院議員

最も危機感を

